

普及現地情報



発信年月日: 令和8年(2026年)6月 18 日

所 属 名: 湖東農産普及課

番 号: F26007

発 信 者 名: 溝口

「リアトリス」出荷・目合わせ研修会を開催しました

「リアトリス」は、愛荘町を中心に湖東地域で 30 年以上の歴史を持つ特産品で、県内の 90%以上のシェアを占めています。6 月15日からの出荷を前に、6 月 12 日に JA 東びわこ花卉部会を対象に研修会を開催し、収穫・出荷方法について統一を図りました。研修会には部会員 6 名、(株)なにわ花市場 3 名、関係機関職員 5 名が出席しました。

市場担当者からは、リアトリスの産地や出荷の状況について説明があり、この中で特に JA 東びわこ産の評価が一番高いことや長期出荷への期待などが話されました。

当課からは、収穫、出荷時における切り前(開花具合)や水揚げ方法等、JA からは出荷時の注意点等を説明、生産者の理解を促しました。現地栽培ほ場では、収穫時の切り前や花蕾の大きさ測定からの出荷予測について説明しました。併せて、摘心による抑制栽培の生育状況を確認しました。

トンネル被覆を行わない慣行栽培では、6 月下旬から 7 月上旬に出荷のピークを迎えます。市場への円滑な出荷のため、出荷時期や需要量等や花蕾測定による出荷予測等について生産者へ情報提供を行う予定です。

今後も関係機関と連携し、促成および抑制栽培による長期出荷の実証や、実証した技術の普及を図るとともに、「リアトリス」の新たな生産者の掘り起こしを行い、産地の活性化につなげていきます。



収穫・調製方法を説明(集出荷場)



蕾の直径からの開花予測を説明(栽培ほ場)